

各位

一般財団法人 獣医療法食評価センター

**第8期は動物病院および飼い主に向けた広報活動を積極的に展開**

一般財団法人 獣医療法食評価センター(理事長 局 博一)は、2026年3月19日に定時評議員会を開催し、今期より新たな評議員を迎えた第8期の主な活動について、次のように報告されました。

- 市販療法食の「評価登録制度」では、14製品が追加され、登録製品は制度開始時の135から169製品に拡大しました。
- 療法食の選び方と飼い主への食事指導をテーマに動物病院とメーカーの対談記事を制作し、9月発刊の専門誌に掲載いたしました(「CLINIC NOTE 242号」、「動物看護 428号」)。
- 7月に大阪で開催されたWJVF第16回大会に展示ブースを出展し、食事療法指導の支援ツールである動物病院専用アプリ「犬猫の食事療法サポート」を紹介し、そのダウンロード数が3,348件まで増えました。
- ペット関連イベント(4月のインターペット、10月の動物感謝デー)に出展した企業に協力いただき、療法食の普及啓発のためのパンフレットを来場者に配布しました。



飼い主向けのパンフレット

■一般財団法人 獣医療法食評価センターとは■

(公社)日本獣医師会の「療法食の在り方検討委員会(2011-2013年)」の報告書の提言に基づき、非営利の第三者組織として、2014年1月に一般社団法人として設立。療法食の適正品質及び適正使用を推進し、家庭動物診療における犬猫の健康管理に寄与することを目的に、①療法食基準の整備、②療法食の評価と普及、③食事療法指導の推進、④飼育者に対する教育啓発、等の活動を行う。2018年2月に一般財団法人に改組し、事業を継承した。

【評議員】 鳥海 弘(とりうみ動物病院 代表取締役:神奈川県)、森 尚志(ダクタリ動物病院 京都医療センター 院長:京都府)、平野博義(メイプル動物病院 院長:福岡県)

【役員】 理事長/局 博一(東京大学 名誉教授)、専務理事/藤井立哉(ペットフード・テクニサーチ 代表)、理事/杉浦勝明(東京大学 特任教授)、監事/大澤孝明(大澤知的所有権事務所)

■お問合せ先■

担当: 藤井立哉(専務理事)